



平成 29 年 10 月 13 日

各 位

(コード番号 6469)

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所

代 表 者 名 代表取締役社長 二村 勝彦

問合せ先責任者

役職・氏名 常務取締役執行役員管理部長

大村 亮

電 話 046-250-3951

弊社成田事業所における爆発による火災事故に関するお知らせ(第 6 報)

(事故原因調査の現況、復旧の見通し及び業績への影響について)

平成 29 年 2 月 17 日(金)に発生いたしました弊社成田事業所における爆発火災事故に関して、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げ、ご遺族に対し心よりお悔やみ申し上げます。負傷された方ならびにそのご家族の皆様方に対しましても、心よりお詫びとお見舞いを申し上げます。また、近隣の皆様、お客様、関係当局の皆様をはじめとする多くの方々に多大なご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

事故調査の現況、復旧の見通し及び業績への影響について下記の通りご報告いたします。

記

1. 弊社成田事業所における爆発による火災発生に関する過去のお知らせ

平成 29 年 2 月 17 日(第 1 報)

平成 29 年 2 月 18 日(第 2 報)

平成 29 年 2 月 20 日(第 3 報)

平成 29 年 2 月 28 日(第 4 報)

平成 29 年 4 月 14 日(第 5 報)

2. 事故原因調査の現況について

平成 29 年 10 月 13 日現在では、関係当局による事故原因の見解はまだ出ておりません。

弊社では、事故後の平成 29 年 2 月 27 日に外部の専門家を含む事故調査委員会を設置し、外部の研究機関なども使って、推定される事故原因について一つずつ実験・検証を行ってまいりました。その結果、事故調査委員会からの 4 月 14 日付け中間報告で推定した爆発の場所、起点、燃焼物については、ほぼ推定どおりとの結論に至っております。しかしながら、残る着火源につきましても、ある程度絞り込みができてまいりましたが、まだ特定するまでには至っておりません。今後とも引き続き、実験・検証を重ねて原因の究明を行ってまいります。

3. 復旧の見通しについて

事故のあった成田事業所は放電加工棟と表面処理棟によって構成されています。

放電加工棟は平成 29 年 3 月より、事故のあった表面処理棟は事故エリアの自動車部品塗装ラインを除いて 5 月より操業を再開しております。事故エリアであった自動車部品塗装ラインは、安全対策を施した新ラインとして平成 29 年 9 月の操業再開を目標に進め、現在設備の設置等は概ね完了しております。しかしながら、工程認証や関係当局の確認などに若干の遅れが生じております。その為、改めて平成 29 年 10 月中の操業再開を目標として現在進めております。

4. 業績への影響について

平成30年 2 月期の通期業績への影響につきましては、平成29年10月 3 日の「平成30年 2 月期第 2 四半期業績予想値と実績との差異に関するお知らせ」でご報告しましたとおり、操業の遅れによる影響は若干ございますが、他の事業で十分カバーできるものと見込んでおります。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社放電精密加工研究所 I R 担当

電話 : 046-250-3951

メール : kanribu@hsk.co.jp